

令和7年度朝陽地区社会福祉大会

「認知症の今～介護者の声を聴く～」

2025年には認知症患者が約471万人となり、高齢者のおよそ13%といわれています。家族だけの介護では、老々介護やビジネスケアラー等、問題を抱え込み、より深刻化しています。今年度の福祉大会では、地域でご家族の介護をする方のお話しをお聴きします。また医療や専門職のご意見を聞き、「地域でつながる介護」について考えていきたいと思います。

◆日時 11月22日(土)午後2時～4時

◆場所 朝陽支所2階集会室

■第1部 地域福祉活動功労者表彰

■第2部 講演・トークセッション

【講演】JA長野厚生連南長野医療センター 認知症看護認定看護師 福島一欽氏

【トークセッション】 朝陽地区住民(北堀) 金井敬典氏

地域包括支援センターコンフォートきたながいけ 川相香子氏

コーディネーター 富岡羊子氏

働きながらお母様の介護している金井さん(51歳)。11年の介護生活の様々なご経験やお母様との関係性や金井さんのお気持ちの変化についてお話を伺います。医療的・介護の専門的な情報についての解説もあります。



＜参加ご希望の方は＞

朝陽地区社会福祉協議会 (☎213-6170)

✉ :j-asahi1906@orion.ocn.ne.jp

またはお住まいの地区福祉推進員支部長まで



申込締切11月14日

大会終了後

＜質問・相談コーナーあります＞

時間: 午後4時から4時半

場所: 朝陽地区ボランティアセンター

(朝陽支所入口横)

「地域包括支援センター コンフォート
きたながいけ」のスタッフが話を伺います。
お気軽にご相談ください。